

| < もくじ >                |   |
|------------------------|---|
| 1. 2026年 年頭の辞          | 1 |
| 2. 2025年度研究会合同イベント開催案内 | 2 |
| 3. 研究会からのお知らせ          | 2 |
| 4. 各研究会の概要報告           | 3 |
| 5. 事務局からのお知らせとお願い      | 4 |

## 1. 2026年 年頭の辞

明けましておめでとうございます。

昨年は、戦後80年、昭和100年に加えて、シニア社会学会創設25周年の記念すべき年でした。25年間、よく続いたものです。創設時に比べると、会員の減少と高齢化は避けがたく、より幅広い年齢層を惹きつけるための新たな方向性を模索しております。シニア社会学会のセカンドステージにご期待ください。

国の内外に目を向けると、いずこにおいても自己中心的で排外的な傾向が強まり、極右政党の支持者が増えています。こうした傾向を加速させたのが、トランプ米大統領の登場であることは言うまでもありません。

一般に好況の時には、金持ち喧嘩せずではないですが、他者に対して寛容になるようです。だが景気が悪化してくると、「自分たちの生活が逼迫しているのは、あいつらのせいだ」と自分と異なる存在を攻撃するようになります。第二次大戦前のドイツで、ユダヤ人の排斥とナチスの台頭が生じたのが典型例です。

近年、日本でも「日本人ファースト」の声が高まっています。世代、ジェンダー、障害の有無、国籍を超えて、すべての人の人権と尊厳が護られる地域共生社会の構築が説かれたのは、つい最近のことでした。自治体と外国との交流を深めようというJICAのプロジェクトは、移民反対の声に押されて挫折しました。

今では外国人が増加すると、犯罪が増える、医療費を踏み倒す外国人が多い、中国人がタワマンを買い占めている等の言説が広まっています。しかし実際には、外国人による犯罪件数は減っており、医療費を踏み倒す外国人はごく少数、都内のタワマンを買っているのは日本企業が多数を占めます。

こうした言説に影響されたのか、留学生の授業料を値上げしたり、彼らを奨学金の対象からはずす大学が出てきました。近年、一流学術誌に掲載される論文数において、日本の順位は低下し続けています。大学のランキングについても、同じ傾向が読み取れます。大学院への日本人学生の進学は減少し、留学生がいなければ定員割れする大学が大多数。留学生を排除するような方策は、日本の学術レベルの低下を招くでしょう。

自分と異なる存在や意見を排除しようという傾向は、地域社会や国際社会における対立や紛争に繋がりが、時には戦争を導きます。他者を理解し受け入れ、他者と共存する「寛容の精神」をいかにして広めていくかが喫緊の課題です。今年こそ、世界各地における紛争が解決し、平和が訪れることを心より願っております。



2026年1月吉日

一般社団法人シニア社会学会  
会長 袖井孝子

## 2. 2025年度研究会合同イベント開催案内（再掲）

第10回研究会合同イベントは、ライフプロデュース研究会が担当します。  
AI と聞くと「難しそう」？ 実は「AI」こそが、シニアの暮らしに寄り添う新しいパートナーです。本イベントでは、生成AIの基本と安全な使い方を実践を交えて紹介した後、AIの可能性と課題をテーマにディスカッションします。どなたでも参加できますので、自分に合ったAIとの付き合い方を見つけてください

### ■テーマ：「今日からできる はじめよう やさしいAI とのシニアライフ」

- 1) 開催日時：2026年 3月21日（土） 14：00～16：00
- 2) 開催主体：ライフプロデュース研究会
- 3) 開催場所：ちよだプラットフォームスクウェア401号室
- 4) 対象者：生成AI 初心者、未経験者
- 5) 参加費：1,000円（学生無料）
- 6) プログラム
  - ◆オープニングセッション：「生成AI とはなにか？」  
渡邊哲哉（当学会会員、民間企業で生成AI を活用している）
  - ◆実践セッション：「生成AI で “できること”」  
ライブ実演：渡邊哲哉
  - ◆トークセッション：「AI とどう向き合うか？」  
積極派：中村昌子（当学会理事、グリーフカウンセラー、ペットロスカウンセラー）  
慎重派：柴本淑子（当学会理事、フリー編集者 元シニア誌『毎日が発見』編集長）
  - ◆クロージング：「今日からの一歩へ」

※ お申し込みは、添付するチラシに掲載いたします。

## 3. 研究会からのお知らせ

### （1）第112回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2026年1月22日（木） 15：00～18：00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：AGIL 図式に基づく「自治会・町内会」の機能分析の試み
- 4) 発表者：大下 勝巳
- 5) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村（ken-sima@jcom.home.ne.jp）までお願い致します。

### （2）第64回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年1月24日（土） 18：30～20：30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：YNS やまぶき任意後見、アワーズ、シニア学会員
- 4) テーマ：人形劇その他

劇団 <sup>びしょうざ</sup>「B笑座」

死後事務契約等の、人形劇、寸劇など行います。劇団員募集しています。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄（mme\_masumi@yahoo.co.jp）までお願い致します。

### （3）第69回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2026年1月28日（水） 17：30～19：30 Zoom 開催
- 2) テーマ：第10回研究会合同イベント
  - ・日 時：2026年3月21日（土） 14：00～16：00

- ・会 場：ちよだプラットフォームスクウェア（開催予定）
- ・テーマ：「今日からできる はじめよう やさしい AI とのシニアライフ」  
について研究会メンバー間の準備・打ち合わせ

※ ご連絡ご質問は、中村昌子（nakamurayoshiko6@gmail.com）までお願いします。

通常の研究会は、合同イベント終了後、3月25日（水）開催の、第71回 研究会からとなります。テーマ他詳細については次回お知らせいたします。

#### （4）第177回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2026年1月28日（水） 18:00～20:00
  - 2) 報告者：石崎浩二（三菱UFJ信託銀行 エグゼクティブ・アドバイザー）
  - 3) テーマ：「金融ジェロントロジー～高齢者のお金と well-being」
  - 4) オンラインで開催いたします。
- ※ 参加を希望される方は、阿部（fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp）にご連絡ください。  
資料をお送りいたします。
- ※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

## 4. 各研究会の概要報告

### （1）第81回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日 時：2025年12月3日（水） 18:00～20:00
  - 2) 報告者：飯 孝行（専修大学法学部教授 社会科学研究所所員）
  - 3) タイトル：「東日本大震災被災者家族にとっての15年—変わらない思いと、裁判とつながりを通じての変化」
  - 4) 場 所：早稲田大学26号館1102会議室
- 東日本大震災15年を前にパブリック法社会学を通じた東日本大震災被害者家族から見えるものについて報告する。報告内容として、1.「パブリック法社会学の手法」について解説し、2.「東日本大震災被害者家族との関り」、3.「変わらない思いと、裁判とのつながりを通じての変化」について述べる。
1. パブリック法社会学の手法としてアクションリサーチによる実践活動を行った。地域の人と社会を知り、その問題の改善に、その研究手法をもってともに取り組むことに特徴がある。
2. 東日本大震災被害者家族との関りでは、2015年に宮城県女川町を訪問した際、現地で語り部をしていた津波事故遺族・訴訟原告のご夫妻に出会い、講義にお招きした。ご夫妻のゲストスピーチは、津波事故から裁判を含む思いや経過を伝えるもので、筆者の研究や受講生の教育に役立ち、学生から感想を寄せられてご夫妻からも感謝された。津波訴訟への関心は、大川小学校津波事故と訴訟に向かい、ご遺族・代理人弁護士と、高裁判決の意義を検討するフォーラムを実施した。
3. 変わらない思いと、裁判とのつながりを通じての変化では、裁判を通じて大川小学校津波事故や関津波事故の遺族の方などとかかわりを持ち、七十七銀行女川支店訴訟での控訴審判決や大川小学校訴訟の最高裁判決などについて紹介した。 （松村治 記）

### （2）第176回「社会保障」研究会の報告要旨

- 1) 日 時：2025年12月17日（水） 18:00～20:20
- 2) 報告者：近藤和子 マザーリング&ライフマネジメント研究所長  
小さな灯台 プロジェクト・リーダー
- 3) テーマ：「尊厳と安らぎのある“看取り”を求めて  
公益財団法人日本尊厳死協会“小さな灯台プロジェクト”活動の紹介」
- 4) 参加人数：12名

「看取り」とは、主に高齢者や回復の見込みのない患者が人生の最期を迎える際、本人の希望を汲み取り、身体的・精神的・霊的な苦痛を和らげながら、尊厳を保ち穏やかに過ごせるよう支援することである。専門的な知識を持った多職種によるケアサポートが求められている。

2021年12月に公開された「小さな灯台プロジェクト」は、公益財団法人日本尊厳死協会が蓄積してきた看取りのエピソード（尊厳死を選択された会員の看取り体験記）の紹介に力点を置いている。その紹介数は本年530例を超え、「死との向き合い方」に踏み込んだ協会コメントは月間17,000～25,000PV前後の閲覧数を集め、高い関心と信頼が寄せられている。

人生100年時代の多死社会を迎えた今、健康長寿の願いとともに、健やかで安らかな死も求められているはずだ。QOL（生活の質）向上とともに、QOD（死の質）向上にも寄与していきたい。

そのためには、私たち市民ひとり一人が、どのような死を希望するのかを具体的に語り合い、医師や看護師との対話としてのACP（アドバンス・ケア・プランニング）への積極的な関心と実践が求められている。

今、急速に進行中の医療・介護社会のDX情報化と社会連携システム化の流れの中で、いずれこのサイトのAIによる応答システム化も視野に入れている。AIは膨大なデータを学習することで成立する。その学習段階において、統計数値や分析理論だけでなく、私たち人間が死に抱く情感も正しく学習させなければならない。

だからこそ今、私たちひとり一人が、死（病院死も在宅死も孤独死も）をタブー視せず、感情を閉じ込めることなく、冷静に言葉化して「小さな灯台」に投稿してほしい。「小さな灯台」はその言葉を集積し、AIへの教育学習効果を高めるデータ蓄積を目指したい。未来の社会保障が、政治・経済だけでなく「心の社会保障」も兼ね備えたインフラ整備となるために。（近藤和子 記）

### （3）第111回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

1) 日 時：2025年12月18日（木） 15:00～17:20

2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室

3) テーマ：濱口先生のレクチャー：アメリカンサイエンス

ー特に社会学者タルコット・パーソンズ提唱の「AGIL 図式」に関する解説

社会学発達史上、1950年代から60年代は、アメリカにおける理論社会学発達が顕著な時代であった。その大きな理由として考えられることは、世界に対するアメリカの経済の圧倒的な有意差であった。アメリカンサイエンスと称される社会学においても顕著であった。

3人の社会学者を指摘できる。『ホワイトカラー論』で一世を風靡したライト・ミルズ。浩瀚な『社会学理論と社会構造』（有斐閣）で社会学の中範囲理論を展開したロバート・キング・マートン。『社会学原理』（有斐閣）で「AGIL 理論」を展開したタルコット・パーソンズら3人を指摘できる。これら3人のうちパーソンズの存在が今回の研究会で取り上げられる。この時代を体験している私にとって、「時代は動いている」という感があった。と述べられた。

レクチャーの後、「AGIL 図式」及び「自治会・町内会」を中心テーマに活発に自由討議を行ない、「AGIL 理論」の理解を深めました。（島村健次郎 記）

### （4）第63回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

1) 日 時：2025年12月27日（土） 18:30～20:30

2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室

3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員（YNS やまぶき任意後見サポート会）

4) テーマ：人形劇、その他 （鈴木眞澄 記）

## 5. 事務局からのお知らせとお願い

### ■『エイジレスフォーラム』の【編集委員】を募集しています。

毎年6月に発行している『エイジレスフォーラム』は、当学会の1年間の活動を報告するアニュアルレポートです。現在、ごく少数の編集委員によって編集作業を行っておりますが、新たに編集作業を手伝ってくださる方を募集しています。

- ① 編集作業に関心のある方
- ② パソコン操作・作業のできる方



- ③ お手元にパソコンをお持ちの方
- ④ 年齢性別・経験の有無は問いません。

※ 年に1冊の発行なので、時間に余裕を持ちながらの分業作業になります。

※ ご興味のある方は、ぜひ、連絡先：e-mail ([jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp))、担当：武者宛にご連絡ください。

## ■ 東京家政学院大学 特別講座開催のお知らせ（シニア社会学会後援）（再掲）

「東京家政学院大学でまちづくりを学ぶ あなたも地域プロデューサーになりませんか？」

東京家政学院大学大学院では、講座「生活経営学特論」を一般参加者も受講可能なプログラムとして開放しています。修了者にはまちづくり人材である地域プロデューサーの資格を授与します。みなさまの受講をお待ちしています。

### <講座概要>

開講科目：生活経営学特論

開講場所：東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス第1会議室 \*原則対面で実施

開講日程 令和8年度(2026年度)前期 集中/校外授業2回(松が谷団地、那須まちづくり広場)

受講方法：受講するには科目等履修生の出願手続きが必要

担当者：井上清美（東京家政学院大学現代生活学部 准教授）

佐野潤子（東京家政学院大学現代生活学部 教授）

協賛：西武信用金庫/後援：（一社）コミュニティネットワーク協会、（一社）シニア社会学会

※ プログラム、出願方法等の詳細につきましては添付するチラシをご覧ください。

### <会員情報変更時のご連絡のお願い>

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

### <2026年2月 JAAS News の発行日>

次回 JAAS News 第318号の発行日は、2026年2月18日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、2月13日（金）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

JAAS News 編集長 松島悦子

一般社団法人 シニア社会学会・事務局  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21  
ちよだプラットフォームスクウェア1037  
eメール：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL：<http://www.jaas.jp/>